2027年３月期　第２四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年11月12日

上 場 会 社 名	ラサ商事株式会社	上場取引所	東
コ ー ド 番 号	3023	URL	https://www.rasaco.co.jp
代　　表　　者	（役職名） 代表取締役社長	（氏名）	青井　邦夫
問合せ先責任者	（役職名） 常務取締役管理本部長	（氏名）	桜木　和陽　(TEL) 03(3668)8231
半期報告書提出予定日	2026年11月12日	配当支払開始予定日	2026年12月８日

決算補足説明資料作成の有無　　：無
決算説明会開催の有無　　：有

（百万円未満切捨て）

１．2027年３月期第２四半期（中間期）の連結業績（2026年４月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績(累計)

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年３月期中間期	13,409	6.0	866	△7.1	953	△6.3	661	△10.9
2026年３月期中間期	12,647	6.8	932	31.2	1,017	18.8	742	16.9

（注）包括利益　2027年３月期中間期　818百万円（△9.5%）　2026年３月期中間期　903百万円（52.2%）

	１株当たり中間純利益	潜在株式調整後１株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2027年３月期中間期	62.73	―
2026年３月期中間期	69.22	―

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年３月期中間期	32,231	23,687	73.5
2026年３月期	32,952	23,433	71.1

（参考）自己資本　2027年３月期中間期　23,687百万円　2026年３月期　23,433百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年３月期	―	36.00	―	44.00	80.00
2027年３月期	―	40.00			
2027年３月期(予想)			―	40.00	80.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：無

３．2027年３月期の連結業績予想（2026年４月１日～2027年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	29,500	4.6	2,650	△10.4	2,950	△8.6	2,100	△11.7	201.79

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：無

※　注記事項

（１）当中間期における連結範囲の重要な変更　　：　無

（２）中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　　：　有

（注）詳細は、添付資料９ページ「２．中間連結財務諸表及び主な注記（４）中間連結財務諸表に関する注記事項（中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：　無

②　①以外の会計方針の変更　　：　無

③　会計上の見積りの変更　　：　無

④　修正再表示　　：　無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年３月期中間期	11,383,838株	2026年３月期	11,383,838株
②　期末自己株式数	2027年３月期中間期	820,648株	2026年３月期	843,747株
③　期中平均株式数（中間期）	2027年３月期中間期	10,542,745株	2026年３月期中間期	10,725,805株

（注）　役員向け株式交付信託が保有する当社株式が、期末自己株式数及び期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含まれております。

※　第２四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料の３ページ「（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 …… 2
（１）当中間期の経営成績の概況 …… 2
（２）当中間期の財政状態の概況 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．中間連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）中間連結貸借対照表 …… 4
（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 …… 6
中間連結損益計算書 …… 6
中間連結包括利益計算書 …… 7
（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書 …… 8
（４）中間連結財務諸表に関する注記事項 …… 9
（継続企業の前提に関する注記） …… 9
（中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用） …… 9
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 9
（セグメント情報等） …… 10
（収益認識関係） …… 11
３．参考情報 …… 12
個別業績の概要 …… 12

１．経営成績等の概況

（１）当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善に加え、自動車関連などの生産活動の持ち直しや企業の設備投資意欲に支えられ緩やかに回復しております。一方で、原材料価格や人件費等のコストの高止まりが継続したほか、世界経済においては中国経済の減速懸念や地政学リスクの高まりなどから、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような経済環境のもとで当社グループは、2026年３月期から2028年３月期までの３か年を計画期間とする新中期経営計画「“Step Forward” Rasa 2027～成長のステージへ～」を策定し、前中期経営計画で強化を図ってきた経営基盤のもと、社会インフラを支える付加価値創出企業として、既存事業の安定的成長にとどまらず、新たなステージへの一歩を踏み出し、さらなる企業価値の向上に取り組んでまいりました。

当中間連結会計期間における売上高は、主に化成品関連や産機・建機関連が増収となったことを受けて134億９百万円となり、前年同期と比べ７億61百万円(6.0%)の増収となりました。

利益につきましては、営業利益は８億66百万円となり、前年同期と比べ66百万円(△7.1%)の減益となりました。経常利益は９億53百万円となり、前年同期と比べ64百万円(△6.3%)の減益となりました。親会社株主に帰属する中間純利益は６億61百万円となり、前年同期と比べ81百万円(△10.9%)の減益となりました。

当中間連結会計期間におけるセグメント別の状況は、次のとおりです。

資源・金属素材関連では、取扱原料の一部において半導体分野、鋳造分野などで市況が回復したことから、関連部門の売上高は27億67百万円となり、前年同期と比べ95百万円(3.6%)の増収となりました。また、売上増収からセグメント利益は76百万円となり、前年同期と比べ24百万円(47.8%)の増益となりました。

産機・建機関連では、民間企業向け主力ポンプが低調に推移したものの、リサイクル設備や水処理設備の大型工事案件が重なったため、関連部門の売上高は46億42百万円となり、前年同期と比べ５億71百万円(14.1%)の増収となりました。一方、原価率の高い大型案件により、セグメント利益は２億93百万円となり、前年同期と比べ１億18百万円(△28.8%)の減益となりました。

環境設備関連では、製鉄所向け水砕設備の改良工事や民間企業向け下水汚泥貯留槽などの大型案件が一巡したため、関連部門の売上高は７億64百万円となり、前年同期と比べ７億73百万円(△50.3%)の減収となりました。また、売上減収からセグメント利益は１億90百万円となり、前年同期と比べ１億12百万円(△37.2%)の減益となりました。

化成品関連では、半導体向け電線分野の需要が堅調に推移したほか、取扱商品の市況上昇により、関連部門の売上高は39億93百万円となり、前年同期と比べ７億63百万円(23.7%)の増収となりました。また、売上増収からセグメント利益は96百万円となり、前年同期と比べ43百万円(83.6%)の増益となりました。

プラント・設備工事関連では、前期繰越の大型工事の完工と定期修繕工事が堅調に推移したことにより、関連部門の売上高は11億29百万円となり、前年同期と比べ１億19百万円(11.8%)の増収となりました。また、売上増収からセグメント利益は１億円(前年同期は９百万円の損失)となりました。

不動産賃貸関連では、賃貸ビルの満室維持とテナント賃料の見直しがあったことから、関連部門の売上高は２億円となり、前年同期と比べ８百万円(4.7%)の増収となりました。また、支払手数料や設備管理費は増加したものの、減価償却費等の減少もあったことから、セグメント利益は１億９百万円となり、前年同期と比べ５百万円(5.1%)の増益となりました。

（２）当中間期の財政状態の概況

当中間連結会計期間末の総資産は322億31百万円となり、前連結会計年度末に比べ７億21百万円の減少となりました。

(流動資産)

流動資産は180億96百万円となり、前連結会計年度末に比べ８億15百万円の減少となりました。

これは主に、現金及び預金で13億62百万円の減少、受取手形、売掛金及び契約資産で９億61百万円の減少等があった一方で、商品及び製品で７億89百万円の増加等があったことによるものです。

(固定資産)

固定資産は141億35百万円となり、前連結会計年度末に比べ93百万円の増加となりました。

これは主に、投資有価証券で２億69百万円の増加があった一方で、保険積立金で１億39百万円の減少等があったことによるものです。

(流動負債)

流動負債は63億６百万円となり、前連結会計年度末に比べ５億47百万円の減少となりました。

これは主に、短期借入金で５億円の減少、１年内返済予定の長期借入金で２億23百万円の減少等があった一方で、支払手形及び買掛金で６億59百万円の増加等があったことによるものです。

(固定負債)

固定負債は22億37百万円となり、前連結会計年度末に比べ４億28百万円の減少となりました。

これは主に、長期借入金で３億65百万円の減少、役員株式給付引当金で１億17百万円の減少等があったことによるものです。

(純資産)

純資産は236億87百万円となり、前連結会計年度末に比べ２億54百万円の増加となりました。

これは主に、親会社株主に帰属する中間純利益で６億61百万円を計上したことによる増加、自己株式の処分で１億17百万円の増加等があった一方で、剰余金の配当で４億84百万円の減少、自己株式の取得で１億96百万円の減少等があったことによるものです。

キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)の残高は42億99百万円となり、前連結会計年度末に比べ13億62百万円の減少となりました。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因については、次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は２億62百万円(前年同期は１億12百万円の支出)となりました。

これは主に、税金等調整前中間純利益９億88百万円、売上債権及び契約資産の減少額５億77百万円があった一方で、棚卸資産の増加額８億25百万円があったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果獲得した資金は１億45百万円(前年同期は46百万円の収入)となりました。

これは主に、保険積立金の払戻による収入１億54百万円、投資有価証券の売却による収入54百万円があった一方で、有形固定資産の取得による支出40百万円があったことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は17億70百万円(前年同期は７億98百万円の支出)となりました。

これは主に、長期借入金の返済による支出５億89百万円、短期借入金の返済による支出５億円、配当金の支払額４億84百万円、自己株式の取得による支出１億96百万円があったことによるものです。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2026年10月23日付の業績予想の修正に関するお知らせで公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

２．中間連結財務諸表及び主な注記

（１）中間連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2026年３月31日)	当中間連結会計期間 (2026年９月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,662	4,299
受取手形、売掛金及び契約資産	6,770	5,809
電子記録債権	2,365	2,749
商品及び製品	3,452	4,241
未成工事支出金	46	80
原材料及び貯蔵品	5	6
その他	609	923
貸倒引当金	△0	△15
流動資産合計	18,911	18,096
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	4,479	4,491
減価償却累計額	△3,156	△3,205
建物及び構築物（純額）	1,322	1,286
機械装置及び運搬具	486	504
減価償却累計額	△456	△462
機械装置及び運搬具（純額）	29	42
土地	6,000	6,000
その他	1,653	1,660
減価償却累計額	△1,580	△1,595
その他（純額）	72	65
有形固定資産合計	7,425	7,393
無形固定資産		
ソフトウエア	30	29
その他	2	0
無形固定資産合計	33	29
投資その他の資産		
投資有価証券	4,975	5,245
退職給付に係る資産	10	6
保険積立金	870	731
その他	733	736
貸倒引当金	△7	△7
投資その他の資産合計	6,582	6,711
固定資産合計	14,041	14,135
資産合計	32,952	32,231

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （2026年３月31日）	当中間連結会計期間 （2026年９月30日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,061	2,720
電子記録債務	1,148	1,022
工事未払金	258	142
短期借入金	800	300
1年内返済予定の長期借入金	379	155
未払法人税等	544	365
契約負債	413	572
賞与引当金	462	429
工事損失引当金	16	20
その他	768	577
流動負債合計	6,853	6,306
固定負債		
長期借入金	1,795	1,429
繰延税金負債	405	478
役員株式給付引当金	262	145
その他	202	183
固定負債合計	2,666	2,237
負債合計	9,519	8,543
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,076	2,076
資本剰余金	1,844	1,844
利益剰余金	19,783	19,960
自己株式	△1,016	△1,096
株主資本合計	22,688	22,785
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	727	898
繰延ヘッジ損益	17	3
その他の包括利益累計額合計	745	901
純資産合計	23,433	23,687
負債純資産合計	32,952	32,231

（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自 2025年４月１日 至 2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自 2026年４月１日 至 2026年９月30日）
売上高	12,647	13,409
売上原価	9,468	10,246
売上総利益	3,179	3,163
販売費及び一般管理費	2,246	2,296
営業利益	932	866
営業外収益		
受取利息及び配当金	30	36
持分法による投資利益	88	49
その他	26	23
営業外収益合計	145	108
営業外費用		
支払利息	19	16
保険解約損	39	－
その他	1	4
営業外費用合計	60	21
経常利益	1,017	953
特別利益		
固定資産売却益	1	－
投資有価証券売却益	54	35
特別利益合計	55	35
特別損失		
固定資産除却損	0	0
特別損失合計	0	0
税金等調整前中間純利益	1,073	988
法人税等	331	327
中間純利益	742	661
非支配株主に帰属する中間純利益	－	－
親会社株主に帰属する中間純利益	742	661

中間連結包括利益計算書

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自 2025年４月１日 至 2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自 2026年４月１日 至 2026年９月30日）
中間純利益	742	661
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	150	170
繰延ヘッジ損益	10	△13
持分法適用会社に対する持分相当額	0	0
その他の包括利益合計	161	156
中間包括利益	903	818
（内訳）		
親会社株主に係る中間包括利益	903	818
非支配株主に係る中間包括利益	－	－

（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自 2025年４月１日 至 2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自 2026年４月１日 至 2026年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	1,073	988
減価償却費	92	85
賞与引当金の増減額（△は減少）	△14	△33
受取利息及び受取配当金	△30	△36
保険解約損益（△は益）	39	△0
支払利息	19	16
持分法による投資損益（△は益）	△88	△49
固定資産除売却損益（△は益）	△1	0
投資有価証券売却損益（△は益）	△54	△35
売上債権及び契約資産の増減額（△は増加）	402	577
棚卸資産の増減額（△は増加）	△131	△825
仕入債務の増減額（△は減少）	△894	416
契約負債の増減額（△は減少）	68	159
その他	△148	△526
小計	333	738
利息及び配当金の受取額	42	45
利息の支払額	△19	△16
保険金の受取額	0	－
法人税等の支払額又は還付額（△は支払）	△469	△505
営業活動によるキャッシュ・フロー	△112	262
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△52	△40
有形固定資産の売却による収入	1	－
無形固定資産の取得による支出	△0	△6
投資有価証券の売却による収入	64	54
保険積立金の積立による支出	△76	△12
保険積立金の払戻による収入	113	154
その他	△3	△3
投資活動によるキャッシュ・フロー	46	145
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	△100	△500
長期借入金の返済による支出	△99	△589
自己株式の取得による支出	△343	△196
自己株式の処分による収入	169	－
配当金の支払額	△421	△484
その他	△3	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△798	△1,770
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	0
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△864	△1,362
現金及び現金同等物の期首残高	5,732	5,662
現金及び現金同等物の中間期末残高	4,867	4,299

（４）中間連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

（税金費用の計算）

税金費用については、当中間連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

前中間連結会計期間(自　2025年４月１日　至　2025年９月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：百万円）

	報告セグメント						合計
	資源・金属素材関連	産機・建機関連	環境設備関連	化成品関連	プラント・設備工事関連	不動産賃貸関連	
売上高							
日本	2,348	3,363	1,538	3,057	1,008	―	11,316
アジア	314	367	―	99	―	―	781
その他	9	339	―	71	―	―	420
顧客との契約から生じる収益	2,671	4,070	1,538	3,229	1,008	―	12,518
その他の収益	―	―	―	―	―	129	129
外部顧客への売上高	2,671	4,070	1,538	3,229	1,008	129	12,647
セグメント間の内部売上高又は振替高	―	―	―	―	1	61	63
計	2,671	4,070	1,538	3,229	1,010	191	12,711
セグメント利益又は損失（△）	51	412	303	52	△9	104	914

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容

（差異調整に関する事項）

（単位：百万円）

利益	金額
報告セグメント計	914
セグメント間取引消去	0
棚卸資産	18
中間連結損益計算書の営業利益	932

３．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

記載事項はありません。

当中間連結会計期間(自　2026年４月１日　至　2026年９月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：百万円）

	報告セグメント						合計
	資源・金属素材関連	産機・建機関連	環境設備関連	化成品関連	プラント・設備工事関連	不動産賃貸関連	
売上高							
日本	2,512	4,078	764	3,805	1,110	―	12,270
アジア	252	245	―	135	―	―	633
その他	2	317	―	52	―	―	372
顧客との契約から生じる収益	2,767	4,642	764	3,993	1,110	―	13,277
その他の収益	―	―	―	―	―	132	132
外部顧客への売上高	2,767	4,642	764	3,993	1,110	132	13,409
セグメント間の内部売上高又は振替高	―	―	―	―	19	68	87
計	2,767	4,642	764	3,993	1,129	200	13,497
セグメント利益	76	293	190	96	100	109	866

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
（差異調整に関する事項）

（単位：百万円）

利益	金額
報告セグメント計	866
セグメント間取引消去	0
棚卸資産	―
中間連結損益計算書の営業利益	866

３．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
記載事項はありません。

（収益認識関係）
顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「注記事項（セグメント情報等）」に記載の通りであります。

３．参考情報

個別業績の概要

2027年３月期第２四半期（中間期）の個別業績(2026年４月１日～2026年９月30日)

（１）個別経営成績

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年３月期中間期	12,167	5.7	656	△19.9	875	△7.9	647	△8.9
2026年３月期中間期	11,509	8.8	819	43.2	949	41.8	710	△52.1

	１株当たり中間純利益	潜在株式調整後１株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2027年３月期中間期	60.85	―
2026年３月期中間期	65.67	―

（２）個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年３月期中間期	23,962	18,311	76.4
2026年３月期	24,119	18,077	74.9

（参考）自己資本　2027年３月期中間期　18,311百万円　　2026年３月期　18,077百万円